第９回
ふくまる夢たまごセミナー

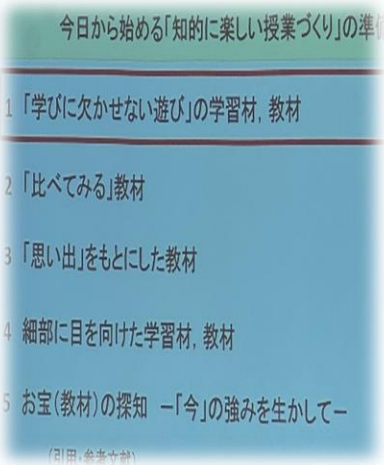
日	時	１月１０日（金）18：00～20：00
場	所	池田府市合同庁舎７階大会議室
内	容	今日から始める「知的に楽しい授業づくり」の準備 ～　生活科・社会科の教材例を通して　～ 講師　服部 太 氏 （ 大阪青山大学 准教授 ）

『遊びの中で子どもたちが育つ力』とは…』

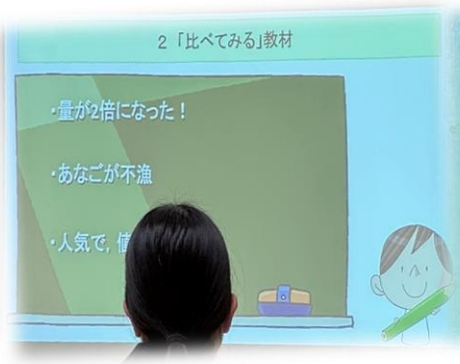
今回のセミナーでは、大阪青山大学の服部 太先生をお招きし、セミナーを実施しました。先生がこれまで取り組んでこられた社会科教育の実践と知見をもとに「社会的事象の見方を働かせながら、知る・考える、そして楽しさが味わえる授業づくり」について、お話をいただきました。

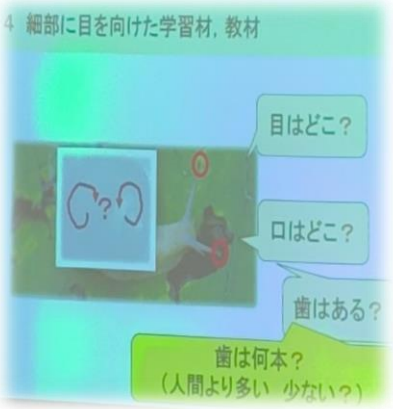
はじめに、「４７都道府県ヒーローズ（朝日新聞出版）」に登場する【近畿地方】のキャラクターを活用し、それぞれのキャラクターが２府４県どこの都道府県を表しているのか、イラストに描かれている地域の特色に着目しながら答えを考えていきました。

「学びに欠かせない遊び」の教材を活用していくことで、子どもたちは、魅力的な学習内容や活動内容に興味を示していきます。知的な楽しさにあふれた学習教材の準備、環境づくりを意識しながら授業を構成していくことの大切を学ぶことができました。



「比べてみる教材」では、復刻版のお弁当のレッテルから様々な学習が生まれる例を示していただき、同一の具体的な事象を、時間軸で比較することで、子どもの問いを引き出し、子どもが教材に没頭しやすくなることを理解しました。





「細部に目を向けた教材」では、カタツムリのイラストを描くところから始め、「渦巻き模様は左右どちらの向きか？」、「顔の特徴は？」など、調べてみないとわからない服部先生の問いかけと身近な昆虫を活用した学習教材に塾生は納得解を見出していました。塾生は、「学びに欠かせない遊び」「比べてみる教材」「思い出を元にした教材」「細部に目を向けた教材」…どの教材もこれから教育現場に出て、必要な観点を学び、将来的に自分自身がめざす教師という仕事の根幹である「授業を通した学び」の楽しさを実感することができたようでした。

最後に、服部先生から、将来教師をめざす塾生に対し、「自分の好きな教科・領域に関わる内容の本」や「自分の好きな教育者に関わる本」など、読書によって培われる『本を読む力』を今のうちに身につけておくこと、さまざまな学校園で公開している研究授業等を参観しておくことで教育に関わる『知見』を広げておくことなど、『今だからこそ使える時間』を有効に活用した日々の生活を過ごしてほしいとアドバイスをいただきました。今回の学びを忘れることなく、概有の知識を増やしていけるような生活を過ごしほしいと思います。

＜ 塾生の感想から ＞

○「カタツムリをもう一度見たい」と思わせる工夫や社会性を身につけさせる公園の行き方など、児童・生徒だけでなく先生側も楽しめることが多かったです。

○知識ばかりに着目してしまいがちな社会科を、どのように指導していけば子どもたちが楽しんで取り組めるかに気がつくことができました。前回の幼稚園の福川副園長先生のお話に引き続き、改めて、「遊び」の重要性を確認することができました。

○学びの中に遊びを取り入れることで子どもたちが興味を持ちながら学習に取り組めることや、教師の意図がいかに大切かということを学びました。子どもたちが楽しく学ぶためにはどうしたらよいのか考えるヒントをたくさんいただいたセミナーになりました。

○教材研究の部分では、「しなさい」ではなく、子どもたちの「したい」（能動）を促すことができるような教材作りを意識しようと思いました。「学び」は、日常にたくさん溢れているので、その学びに気づくことができるよう、様々な領域の読書であったり、自身の体験や経験を増やしたりなど、経験値を高めていきながら、「機知の領域を増やす」ことに努めていきたいと思います。